児童だより

しゃぼん玉

No. 392
2017 ねん
9がつごう

にしのみやしりつとしょかん

ヤマドリタケのおじいさんのたんじょうのおいわいのひ。あちこちのはやしから、たくさんのきのこたちがあつまってきて…。

「わいわいきのこのおいわいかい」
タチヤーナ・マーヴリナ／絵
レーマ・ペトルシャーンスカヤ／文
牧野原羊子／訳
カランダーシ　Ｅ４マア

秋になると山の中のかれた木にあらわれるツキヨタケ。まわりが明るいときづかないけど、一日じゅう光っているんだ。

「キノコ」　光るいきもの
大場裕一／著
宮武健仁／写真
くもん出版　４７

きのこのこのこ きのこのほん

もうすぐ、秋。
秋は、おいしい
きのこがたくさん
採れる季節だよ。

きのこは、実はカビの仲間で、菌類と呼ばれているよ。なんと植物より動物に近いんだって！

「きのこの不思議」
保坂健太郎／著
誠文堂新光社　４７

ふだんはしずかなホンシメジ先生の診療所。ところがある朝、外を見るとかんじゃがぎょうれつ…。キノコ村のみんなのからだにテングそっくりなキノコがはえてきてしまったのだ。

「ホンシメジ先生と なぞのテングバナキン!」
コマヤスカン／作・絵
PHP 研究所　Ｅ３コマ

タケオは１０歳。きのこの研究をしているパパは単身赴任中。夏休みを利用してパパに会いに行ったタケオが出会ったのは…!?

「キノコのカミサマ」
花形みつる／作
鈴木裕之／絵
金の星社　９３１ハナ